

日女薬カレントニュース第 22 号(2022 年 5 月配信) のご紹介

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めています。令和4年度児童福祉週間標語は「見つけたよ 広がる未来とつかむ夢」です。日女薬カレントニュース第22号の注目記事をご紹介します。



特別寄稿 「オミクロン株で増えてきたこどもの COVID-19 感染」

東邦大学名誉教授 村井貞子氏

オミクロン株(BA.1 系統))による COVID-19 第6波の感染者数は、今までになく大きな波となりました。2月に入り新規陽性者数は減少傾向を示しましたが減少しきれずに高止まり、3月半ばからは、より感染性の強い(BA.2 系統)変異株が入り感染者数は増加、5 月には分離株の 100%になると予測されています。この 2 年間の経験では、新年、新年度、GW、夏休み等々による人の流れの増大から COVID-19 流行波がおきており、現在 GW を控え、流行の高止まりから第 7 波へのリバウンドが憂慮されています。

オミクロン株流行の特徴は、他の流行株の場合と異なり 20 歳以下の感染者数が多い事であり、「こどもの罹患は少ないし、軽い」と言われてきた事とは裏腹に小児多系統炎症性症候群(MIS-C)も報告されるようになりました。

こどもに多発している理由の一つには、こどもへの COVID-19 ワクチン接種の遅れ、50 歳代未満の人の低い接種率が考えられており、生徒・学生年代と親年代の若者の積極的な接種が望まれています。

カレントニュース第 22 号では「オミクロン株で増えてきたこどもの COVID-19 感染」と題して、更なるオミクロン株の増加によるこどもたちの重症化に警鐘を鳴らすと共に、ワクチン接種の必要性を示しました。

GW に向かう今、ワクチンの必要性を、3密回避を始めとするリスク行為の回避、正しいマスクの着用、換気等と共に、こどもの健康と高齢者や脆弱な人々の命を守る為の COVID-19 対策として地域の人々と共有したいと思います。



詳細につきましては、日女薬会員ページから日女薬カレントニュース第 22 号(2022 年 5 月配信)をご参照ください。